

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価 計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	武雄市立北方中学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<p>・設定した重点目標については、おおむね達成することができた。今年度も新型コロナウイルス感染症の流行によって、学校行事等の延期や開催方法の変更などを行ったが、保護者や地域の方々のご理解とご協力により、生徒の学習活動を円滑に実施することができた。</p> <p>・「学力向上」については、研究主任、学力向上対策コーディネーターを中心に研究や研修をすすめ、教師の授業力向上により一層取り組むとともに、北方中受業スタイルを更に推進し、「個別最適な学び」「協働的な学び」を一体的に充実させ、学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業に取り組む。</p> <p>・本校の課題である「家庭学習の習慣化」については、「授業と家庭学習をつなぐ前進ノートA」の活用により、おおむね達成することができた。しかし、学習時間の確保という点に課題があり、次年度も引き続き重点課題に設定するとともに、PTAと連携した810大作戦(平日夜8時～10時は勉強)の定着や、ICTを活用した家庭学習、テスト前勉強用自主学習ノート(前進ノートB)の質的向上にも引き続き取り組む。・次年度も、「防災教育」「ICTを活用した教育の推進」「特別支援教育及び教育相談の充実」をより一層進めるとともに、働きやすい職場環境づくりを進めていきたい。</p>
------------------	--

2 学校教育目標	「郷里を愛し、志を高める生徒の育成」
----------	--------------------

3 本年度の重点目標	<p>① 確かな学力の定着と向上    ② 豊かでたくましい心身の育成    ③ 地域を愛し、貢献する生徒の育成</p> <p>④ 志を高める生徒の育成    ⑤ 特別支援教育・教育相談の充実    ⑥ 働きやすい職場環境づくり</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標(数値目標)								
●学力の向上 重点①	○全職員による共通理解と共通実践	○「先生たちは、めあてを提示し生徒に見通しをもたせるなどして丁寧に授業をしているので、次の学習につなげることができている」と肯定的に回答した生徒の割合を95%以上。	・北方中授業スタイルの徹底。 ・単元等をおとした「めあて」のたて方や振り返り活動の工夫改善。 ・朝の10分間読書の時間を設定して、集中力と読解力の伸長を目指す。							研究主任 学力向上対策コーディネーター
	○授業改善と家庭学習の習慣化及び質の向上	○「授業と家庭学習をつなぐ前進ノートAに一週間(5日間)のうち何日取り組んでいますか?」で「5日取り組んでいる」と回答した生徒の割合を80%以上。	・授業改善及び授業と家庭学習をつなぐ「前進ノートA」やタブレットを活用した復習問題に確実に取り組ませ、家庭学習の習慣化と質の向上を図る。							研究主任 学力向上対策コーディネーター
●心の教育 重点②	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「誰かの役に立っている」と肯定的に答える生徒の割合を90%以上 ○「道徳をはじめ様々な学校活動の中で、生徒の自己肯定感を高める指導に取り組んでいる」と肯定的に答える教員の割合を90%以上	・特別の教科「道徳」の授業の充実 ・学校行事や生徒が活躍できる場の確保 ・校則の見直しと生徒指導の改善・充実							道徳推進教員 特活・人権・同和教育主任 生徒指導主事
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「先生たちは、いじめの防止のために指導をしている」と肯定的に回答した生徒の割合を90%以上、保護者を90%以上 ○「機会を設けてあなたと話したり、話を聞いたりしている」と肯定的に回答した生徒の割合を90%以上	・月1回の生活アンケートの実施及び年2回のいじめ調査の実施 ・年2回のQ-Uアンケートによる生徒の実態把握 ・教育相談週間の設定及び実施							生徒指導主事 教育相談主任
	●◎生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と肯定的に回答した生徒の割合90%以上 ●◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的に回答した生徒の割合90%以上	・教育相談等を通して個の理解に努める。 ・学校行事等の中で、活躍の場面を与え、その取り組み内容について称賛する。 ・総合学習やキャリア教育を通して、自己の生き方を考えることができるようにする。							各学年主任 教務主任
●健康・体づくり 重点② ③	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」生徒90%以上 ○「心と健康のバランスを保つために、適度な運動、バランスの取れた食事、睡眠を意識している」と肯定的に回答した生徒の割合を80%以上	・心とからだのアンケートの実施 ・保健だよりの発行 ・生活部の活動の充実 ・栄養教諭と連携した食育指導							保健主事 食育推進
	○防災教育の充実	○「自分の身を自分で守るためには、自分自身が学ぶことが大切だ」と肯定的に回答した生徒の割合を90%以上	・交通安全教室(4月)の実施 ・避難訓練[災害時の引き渡し(6月)、地震・火災(11月)、不審者(12月)]の実施 ・校内研修の実施(年間3回) ・防災教育の実施(総合的な学習の時間等)							安全・防災教育主任 総合的な学習主任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進 重点⑤	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・タイムレコーダーを活用し、職員の時間外勤務状況を把握して適切な指導を行う。 ・挨拶や声掛けを大切にして、お互いが見守りあう組織づくりを行う。							管理職

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標(数値目標)								
○教職員の資質向上 重点①	○ICTを活用した授業実践の推進	○「ICT機器を利用した授業によく取り組み、理解が深まった」と肯定的に回答した生徒の割合を90%以上、保護者を80%以上	・タブレットに付属しているアプリや学習用ソフトなどの活用に関する研修会の実施 ・ICTを活用した研究授業の実施							情報化推進 指導方法改善 視聴覚教育
◎志を高める教育 重点④	○自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育の推進	○基礎的・汎用的能力についてのアンケート調査の各項目で、肯定的に回答した生徒の割合を80%以上。	・キャリア教育の視点から見直した授業の展開を図る。							キャリア教育 進路指導主事 特活主任 総合的な学習
○地域社会と連携・融和したコミュニティスクールの推進 重点③	○保護者や地域住民と連携したコミュニティスクールの充実	○「地区や町(市)の行事に積極的に参加している」と回答した生徒の割合を80%以上 ○「学校は情報を積極的に保護者や地域によく発信している」と回答した保護者の割合を80%以上	・小中合同の学校運営協議会の実施 ・地域行事に関する周知徹底と参加促進 ・学校、学級通信等の発行、学校HPのこまめな更新、学校伝言板(お知らせメール)の活用 ・PTA広報誌の地域への配布							教務主任
○特別支援教育の推進 重点⑤	○配慮を要する生徒に対する支援の充実	○「配慮を要する生徒に関する情報共有や研修を行い、支援の充実に取り組んだ」と回答した職員の割合を90%以上	・特別支援教育に関する研修の実施 ・生徒理解に関する研修の実施 ・SSW、SC、医療機関等関係機関との連携促進 ・特別支援学校巡回相談の活用							特別支援教育コーディネーター 教育相談

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
----------------	----------------------------